

令和2年度 第1回 学校運営協議会 議事録要旨

下野市立古山小学校

1 日時 令和2年5月14日(木) 10:00～11:00

2 会場 古山小学校 多目的室

3 出席者

- 委員 地域住民 (再任) 大塩 宗里
- 地域住民 (再任) 中川 賢一
- 保護者 (再任) 須藤 勇樹
- 地域住民 (新任) 伊澤 誠
- 地域住民 (新任) 大垣 美穂
- 地域住民 (新任) 片山 博夫
- 保護者 (新任) 関口 保洋
- 校長 (再任) 梶原 和子

- 事務局 教頭 生澤昌幸
- 教務主任 白石孝子

- その他の出席者 地域学校協働活動推進員 西本 由利子

4 承認事項 ・令和2年度古山小学校学校運営協議会 委員長、副委員長の選出
・令和2年度学校経営方針

5 内容

教頭	<p>◇学校運営協議会委員の役割等概要について</p> <ul style="list-style-type: none">○学校評議員と学校運営協議会の違いについて<ul style="list-style-type: none">・学校評議員会は、校長のアドバイザーとして校長の求めに応じて校長と協議ができるということに対して、学校運営協議会は、学校長も学校運営協議会の一委員であり、学校長の学校運営に対して意見をすることができる。・学校長の学校運営に対しての意見や変更点などを教育委員会に具申することができる。
	<p>◇委員長、副委員長の選出について</p> <ul style="list-style-type: none">・委員長 : 大塩 宗里 委員・副委員長 : 中川 賢一 委員 <p>※全委員一致で承認</p>
校長	<p>◇学校経営概要の説明</p> <ul style="list-style-type: none">○教育目標及び学校運営に関すること<ul style="list-style-type: none">・学校教育目標、目指す児童像をさらに具現化ための、目指す学校像、目指す職員像の設定。(共通事項: 自他のよさを認め合うこと、仲間との学び合い)・教員が互いの長所を認め合い補い合いながら取り組む姿を手本として子どもに示す。・学校、保護者、地域社会が連携して子どもの成長を見守り、子どもが通いたくなる学校、保護者が通わせたい学校、教職員が勤務したくなる学校を目指す。○教育課程の編成に関すること<ul style="list-style-type: none">・創立50周年の節目を終え、新たなスタートとなる今年度。学校運営協議会

- との連携を図り、地域に開かれた学校としての教育課程の編成を方針とする。
- ・本校の児童は、素直で人の話を大変よく聞くことができる。清掃など、しっかり行うことができる。集会でも、真剣に話を聞いている姿が見られる。反面、自己表現力に課題がある。学びを保証する授業作りに努め、基礎的・基本的な知識・技能の定着と学習意欲の向上を図ると共に、「読む力」「書く力」を高め、思考力・表現力・コミュニケーション能力の育成に努める。
 - ・学校課題では、特別の教科「道徳」を中心に据え、認め励ます指導を基本とした心の教育を推進していく。
 - ・今年度は、「豊かな学力」と「豊かな心」を育むことに重点を置き、教育課程の運営に努める。
 - ・現状においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努め、安全安心を第一に考えていく。その中で、学校行事等の運営の仕方を考え、学習内容の重点化を図っていく。

教頭

- 地域との連携に関すること

- ・教育活動支援ボランティア募集について、「古山サポート ネット」を称し、地域の人材資源を募る。

教務

- 本年度の行事予定説明等

- ・運動会の延期、古山小祭の中止について
- ・泊を伴う行事については、検討中
- ・行事を精選し、授業時間の確保に努める。授業については、国語、算数、理科、社会、外国語を中心に行い、学習内容の重点化を図る。未履修を極力減らせるよう、計画的に進めていく。

校長

- 石橋中学校区の小中一貫教育の推進について。

- ・目指す子ども像は、「地域とつながり社会に貢献できる子ども」。昨年度から2年間の課題研究として、「心の教育」。本校の学校課題とも共通している。「学活」で、体験重視で取り組んでいく。グランドデザインに盛り込んである。

委員

- その他

- ・児童の、資質・能力の向上とともに、教職員の資質・能力の向上も図っていくこともお願いしたい。

※学校経営方針に全委員一致で承認



会議の様子



休業中の預かりの様子を見学